

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	20	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	20	5	0	5	30
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	5	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期末レポートを評価する。複数のレポート課題を事前に提示し、その中から学生自身が選んだ課題について提出する。 なお、講義期間中に、何度か中間提出の機会を設ける。評価基準については授業内で説明する。				講評を付けて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	本授業の学びの「情報収集と整理、分析と要約からレポート作成」を受け、プレゼンテーションする。その構成、内容、表現技術、質疑応答等を総合的に評価する。評価基準については授業内で説明する。				講評を付けて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業中もしくは時間外学習にて、予告の上で課題を課し、小テストを行うこともある。課題の提出及び課題の得点、小テストの得点、出席状況などを総合的に評価の対象とする。評価基準については授業内で説明する。				講評を付けて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容	「書く」ことの理解と実践を深めるため、模範となる具体的な事例を数多く紹介し、プレゼンテーション、グループワーク等も取り入れながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 本授業は対面方式であるが、授業の進捗状況、授業環境等(感染症等の影響)により、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。また、必修科目のため、欠席や遅刻をしないように努める。 生成 AI を使用した作成は認めない。使用と判断される場合は評価の対象としない。 今後の学生生活やビジネスシーンにおいて、「書く」行為で自己を発表する機会は多く重要である。そのために必要なスキルの習得と向上を目指しており、積極的に取り組むことを期待する。 						